

物づくり企画展「棚田に石積みに見る歴史と文化-久賀の石工の仕事-」  
関連講演「周防大島久賀の宮本先生との棚田調査」開催要項

□趣旨

平成26年8月から開催中である、物づくり企画展「棚田の石積みに見る歴史と文化-久賀の石工の仕事-」では、宮本常一が団長で調査した「周防久賀の諸職用具」のうち、石工を中心に、近年注目されつつある棚田の利用や民俗技術の視点からよみなおした。また、そのために『周防久賀の諸職』調査の際に不十分だった写真や地図などを再整理してデータ化し、資料館に収蔵の石割道具・採石道具を再点検して学術資料として資源化し、そのうえで日本の棚田文化や石積みの民俗技術のなかに位置づけ、石積み用具の実物、棚田や石積みを写真や地図などでパネル展示して公開した。

これらの展示をより意義あるものとするため、関連する文化講座を開催する。上記調査の調査員として動かれた愛知大学の印南敏秀氏を招請し、その頃の問題関心や現在と比較した棚田・石積みの位置づけ、当時の思い出などをお話いただくこととする。本講演により、町内外の市民に久賀の棚田や石工技術を講師の話を通して触れてもらうことで、周防大島や瀬戸内海を再発見する機会や、今後の棚田や石積みの保存・活用について考える場としたい。

□内容

講演

11月16日(日)13時半～15時

愛知大学地域政策学部教授 印南敏秀氏

□場所

八幡生涯学習のむら 町衆文化伝承の館 語らいの間(定員65名)

□参加費：無料、申込不要